

2021年度 事業報告書  
2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター

## 1 事業実施の成果

2021年度は、コロナ禍が続く2021年度は、過去最多の前年度と同じ、42名が在籍しました。「コロナ禍でも可能な充実した生徒活動の再構築」を目標に、オンライン学習支援体制の強化や、生徒間や大学生スタッフとの交流促進のための企画を多く実施しました。

高校生は、日帰りで行った仙台への修学旅行を実施しました。セミナーや高等部の学校説明会を対面とオンラインの同時開催で行うなど、新しい試みに多く挑戦しました。

これまでご支援いただいた多くの寄付者の方が、今後も応援したくなるコミュニケーションを目指して、日常の活動や活動の価値が伝わるようにメールマガジンの導入に取り組み9月から月1回ペースで配信しました。また、成果が見える冊子の寄付報告書を作成し、前年度、ご寄付いただいた全寄付者の方と、その後の寄付者の方に郵送しました。

近年、小学生の不登校が顕著に増加する中で、小学生の保護者からの相談も急増していました。地域に小学生を受け入れるフリースクールがない状況を解消するため、年末の募金キャンペーンのテーマを「フリースクール小学部設立」のため実施しました。期間中で、目標金額300万円を上回る寄付を集めることができ、2022年度からの開設が実現しました。

また、行政との連携が一層深まり、盛岡市と岩手県が開催する不登校対策会議に、センター長尾形が出席しました。いずれも、民間フリースクールの参加ははじめてのことです。

7月6日(火) 「盛岡市不登校対策委員会」：盛岡市教育委員会主催

9月21日(火) 「岩手県不登校児童生徒支援連絡会議」：岩手県教育委員会主催

年度末には、そうしたこれまでの功績が認められ、住友生命保険相互会社が主催する第15回「未来を強くする子育てプロジェクト」において、最高賞の『スミセイ未来大賞』『文部科学大臣賞』を受賞しました。より良い子育て環境づくりに取り組む個人や団体を表彰するもので、応募数211組の中から盛岡ユースセンターが選ばれました。

また、組織基盤強化のための取り組みとして、組織評価をする第三者機関である非営利組織評価センターの「グッドガバナンス認証」の取得に向けて体制整備を進めてきました。7月に最初の診断を受け、3月中に不足項目の再申請を行いました。2022年度夏頃までの取得を目指しています。

### (1)総合教育事業

「コロナ禍でも可能な充実した生徒活動の再構築」するために

#### ①オンライン学習支援体制の強化

高校生のレポート支援を、オンライン・対面同時に授業を行う形式にしたことで、

登校が不安な生徒がオンラインで自宅から授業に参加でき、新一年生が学習ペースをつかむきっかけにもなりました。解説動画を残したことで、時間や場所にとらわれずに学習を進めることができ、試験勉強がはかどったという声もありました。また、高等部説明会も対面とオンラインの両方で、10月から12月まで、計3回実施しました。

## ②大学生インターンや生徒間の行事を通じた交流の促進

- ・学生スタッフが企画や運営を担当した行事を11回開催しました。  
(心理学座談会、ボードゲーム大会、海外研修の話、大学の研究発表会など)  
普段関わっている大学生が学んでいる学問について、大学生活について、話を聞ける機会を多く設けました。高校生だけでなく、中学生も多く参加し、「自分もこういうことが学びたい」との声もありました。
- ・生徒間の交流として、特に高校生同士の交流に力を入れ、月に1回「自分を知る」「相手を知る」をテーマに、自己理解を深めるワークや、1対1での対話や、コンセンサスゲームなどを行いました。オンラインでの参加できるようにした回では、欠席がちな生徒の参加が増えるなどの改善が見られました。

## ③コロナ禍での修学旅行の可能な形での実施

12月10日(金)に、仙台への修学旅行を実施。通信制高校サポートコースから9名、高卒認定サポートコースから1名の計10名が参加しました。

## (2) 相談事業

相談件数は、電話による相談が50件、面談による相談が98件(155名)ありました。

## (3) 教育支援事業

2021年度は、助成金を使わずに事務負担の少ない自主財源でのセミナーに注力しました。コスト削減のため、SNSや新たに導入したメールマガジンを中心とした宣伝活動を行い、当日のセミナーも会場参加の他に、オンライン受講もできる形で行いました。今までの定員以上の方に参加していただいた一方、オンラインで参加していただいた方とその後も繋がりに続けるには、さらなる工夫の必要性も感じました。

### ①セミナー

- ・6/19(土) 菅原憲先生「子どもの不登校への向き合い方」  
参加者 25名(会場5名、オンライン20名)
- ・7/18(土) 奥野雅子先生「親子間コミュニケーションの変化が家族を進化させる」  
参加者 31名(会場6名、オンライン25名)

### ②茶話会(保護者会)

7.8月以外の10か月間実施しました。卒業生や、卒業生の保護者の方がゲスト参加し、実体験を語ってくれることで、保護者の方が安心して話せる場づくりを行いました。

年度末にはオンライン参加も対応し、今後の可能性が広がりました。

## 2 事業実施に関する事項

### 【特定非営利活動に係る事業】

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
総合教育事業	基礎学力サポートコース (小・中学生の不登校生等への学習等の支援)	通年	盛岡市	13人	小学生 4名 (のべ136日) 中学生 13名 (のべ625日)	13,260
	通信制高校サポートコース	通年	盛岡市	13人	1年生 5名 (のべ364日) 2年生 11名 (のべ548日) 3年生 1名 (のべ85日)	
	高卒認定合格サポートコース	通年	盛岡市	13人	2名 (のべ33日)	
	進路サポートコース	通年	盛岡市	13人	6名 (のべ29日)	
相談事業	電話による相談	通年	盛岡市	2人	50件	0
	面談による相談	通年	盛岡市	2人	155名 (98件)	
教育支援事業	不登校セミナー	2日	盛岡市	5人	56名 (内オンライン45名)	55
	保護者のための茶話会	10日	盛岡市	5人	33名	

# 貸借対照表

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター  
全事業所

[税込] (単位:円)  
2022年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金		106,555	
普通預金		8,824,821	
現金・預金計		<u>8,931,376</u>	
(売上債権)			
未収金		73,131	
売上債権計		<u>73,131</u>	
(その他流動資産)			
立替金		16,169	
その他流動資産計		<u>16,169</u>	
流動資産合計			<u>9,020,676</u>
資産の部 合計			<u>9,020,676</u>
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金		787,163	
流動負債計		<u>787,163</u>	<u>787,163</u>
負債の部 合計			<u>787,163</u>
		《正味財産の部》	
【正味財産】			
前期繰越正味財産額		5,240,136	
当期正味財産増減額		<u>2,993,377</u>	
正味財産計			<u>8,233,513</u>
正味財産の部 合計			<u>8,233,513</u>
負債・正味財産合計			<u>9,020,676</u>

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
2022年 3月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

現 金	106,555
普通 預金	8,824,821
東北銀行	(3,034,413)
ゆうちょ銀行 (振替)	(4,001,890)
ゆうちょ銀行	(1,788,518)
現金・預金 計	<u>8,931,376</u>

(売上債権)

未 収 金	73,131
売上債権 計	<u>73,131</u>

(その他流動資産)

立 替 金	16,169
その他流動資産 計	<u>16,169</u>

流動資産合計

9,020,676

資産の部 合計

9,020,676

## 《負債の部》

### 【流動負債】

未 払 金	787,163
-------	---------

流動負債 計

787,163

負債の部 合計

787,163

正味財産

8,233,513

# 活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

<b>【経常収益】</b>			
<b>【受取会費】</b>			
正会員受取会費	24,000		
<b>【受取寄付金】</b>			
受取寄付金	5,037,005		
<b>【事業収益】</b>			
事業 収益	10,368,400		
<b>【その他収益】</b>			
受取 利息	27		
雑 収 益	1,015,000		
経常収益 計	1,015,000		16,444,432
<b>【経常費用】</b>			
<b>【事業費】</b>			
(人件費)			
給料 手当(事業)	7,965,360		
法定福利費(事業)	977,277		
福利厚生費(事業)	19,396		
人件費計	8,962,033		
(その他経費)			
業務委託費(事業)	50,000		
諸 謝 金(事業)	119,937		
印刷製本費(事業)	200,416		
会 議 費(事業)	10,691		
旅費交通費(事業)	253,807		
通信運搬費(事業)	378,614		
体験活動費(事業)	261,377		
消耗品 費(事業)	552,976		
教育教材費(事業)	75,315		
水道光熱費(事業)	345,705		
地代 家賃(事業)	727,450		
保 険 料(事業)	11,770		
研 修 費(事業)	212,293		
支払手数料(事業)	216,548		
新聞図書費(事業)	19,911		
雑 費(事業)	20,110		
広告宣伝費(事業)	16,269		
その他経費計	3,473,189		
事業費 計	8,962,033		12,435,222
<b>【管理費】</b>			
(人件費)			
人件費計	885,000		
(その他経費)			
通信運搬費	27,232		
水道光熱費	27,389		
地代 家賃	75,162		
租税 公課	1,050		
その他経費計	130,833		
管理費 計	130,833		1,015,833
経常費用 計	130,833		13,451,055
当期経常増減額			2,993,377
<b>【経常外収益】</b>			
経常外収益 計			0
<b>【経常外費用】</b>			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			2,993,377

# 活 動 計 算 書

[税込] (単位 : 円)

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

経理区分振替額	0
当期正味財産増減額	2,993,377
前期繰越正味財産額	5,240,136
次期繰越正味財産額	8,233,513

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の内訳は、以下のとおりです。

科目	総合教育事業	相談事業	教育支援事業	計
(1) 人件費				
給料手当	8,850,360		0	8,850,360
臨時雇用賃金	0		0	0
法定福利費	977,277		0	977,277
福利厚生費	19,396		0	19,396
人件費計	9,847,033		0	9,847,033
(2) その他経費				
業務委託費	50000			50,000
諸謝金	68,000		51937	119,937
印刷製本費	200,416		0	200,416
会議費	10,691		0	10,691
旅費交通費	253,807		0	253,807
通信運搬費	375,086		3528	378,614
体験活動費	261,377			261,377
消耗品費	552,976		0	552,976
教育教材費	75,315			75,315
水道光熱費	345,705			345,705
地代家賃	727,450			727,450
保険料	11,770			11,770
研修費	212,293			212,293
支払手数料	216,548			216,548
新聞図書費	19,911			19,911
雑費	20,110			20,110
広告宣伝費	12,269		4000	16,269
その他経費計	3,413,724		55,465	3,469,189
合計	13,260,757		55,465	13,316,222



### 3. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書) 事業費 人件費 給与手当	7,965,360	3,040,120	0
(活動計算書) 管理費 人件費 給与手当	885,000	337,000	0